

高校生の企画で街にぎわう

OYABE マルシェ2024初夏 開催



↑来場者にメルグー風ソフトクリームを販売する石高生

6月16日に小矢部市のすずらん通り商店街でOYABEマルシェが開催され、地元産の肉を売る屋台などが並んだ。石高生が考えたスタンプラリーやショップは多くの人で賑わい、初夏を楽しむイベントとなった。

PRが成功

高校生企画責任者の稲垣 蓄咲さん（22H）は自分たちの企画を、「多くの人に楽しんでもらえた。スタンプリカードを事前に小学校に配りPRしたことがより多くのの人に来てもらうことに繋がったと思う。小矢部市のこと、ソフトやラテの衛生面、予算面など調べて準備するのが大変だった」と振り返った。

やりがいを感じた

この企画を評価するアンケートには、小学生から50代までの幅広い声が集まったという。来場者の反応や回答結果をみて印象に残ったことを稲垣さんに尋ねると、「『もつと地域のことを知りたくなった』という言葉にやりがいを感じた。『高校生の接客がよかった』ということも書かれておりうれしかった。『列の整備

がちゃんとされてなくて困った』『スタンプリカードが何か所にしかおいてないのはおかしい』といった反省点も書かれており、ありがたい。これらの意見を真摯に受け止め、次の機会があれば少しでも改善された状態で臨みたい」と成果と課題を語った。

今後に活かして



↑トッピングセットを使い来場客が飾りつけたメルグー風ソフトクリーム

来場者の一人は高校生の企画について、「戸惑うことは多いかもしれないが、次にどう活かすかを考えるのが大事。頑張ってください」と期待を寄せた。訪れた多数の子供たちは、「おいしい」と声を合わせて笑顔でアイスを食べていた。